



Weekly Report

ロータリーのマジック

THE MAGIC OF ROTARY

2024～2025年度 RI2540 地区テーマ

「小さな奉仕を積み重ね、
希望の未来へ前進しよう」

大館中央ロータリークラブ

ODATE CHUO ROTARY CLUB

R I 会長：ステファニーA.アーチック

地区ガバナー：佐藤 和志 (田沢湖RC)

会長：菅原 新一

幹事：秦 誠

会報委員長：尾形 勝美

第1395例会 2025年4月7日

■出席報告

会員数 15名

本日 出席者 13名 出席率 86.66%

1/8 修正 出席者 8名 出席率 57.14%

修正率 57.14%



■例会

毎週月曜日 12:30～

秋北電機工業(株)

■事務局

〒017-0055 大館市宇沼館 91

秋北電機工業(株)内

TEL:0186-42-7275

FAX:0186-45-1552

E-mail:ri2540odatechuo@gmail.com

■ビジター紹介

大館北 RC 会長 東光コンピューターサービス(株) 代表取締役社長 藤盛 公之 様

大館北 RC 創立60周年実行委員長 (株)笹谷建設 社長 笹谷 博久 様

■会長の時間



先日、福田こうへいという歌手の人が3年ぶりに大館で公演をしました。岩手県出身ということで、言葉が通じやすいといいますが、話しやすいというか。その人はただ歌っているだけじゃなくて、お話もいっぱいしていました。お話が非常に上手で、例えば30分歌えば、お話が20分くらいしていました。司会者がいるので、司会者とのやり取りも聞いていました。非常に笑いを誘う楽しいお話だなと一生懸命口をあいて笑っていましたが、歌よりも私はお話のほうが非常に興味深かったです。今日休んでいますが、伊藤会員が福田さんの大ファンであの人に言わせれば歌も最高だと。その中で…皆さんも使うかどうか分かりませんが、「戸(扉)」を閉めてという言葉は普通に使うと思うんですが、昔は「戸をたてろ」ということばであったんです。

そしたら、福田こうへいさんの親戚かなんかで東京からお嫁さんが来て岩手県で暮らすことになったらしく、そこにたまたまおじさんが居て、嫁さんと2人になったときに雨が降ってきたのでおじさんが嫁さんに「ちょっと戸をたてろ」とお願いしたところ、だけど東京の人はさっぱり何を言ってるか分からないわけですよ。それでそのおじさんも、寝ながらジェスチャーしててそのジェスチャーを嫁さんが変にとらえたみたいで、「おじさん何やってるの！この忙しい時に！」と嫁さんは怒ってたらしく、おじさんの的にはただ「戸をたてろ」とお願いしただけなのになと思って大して揉めたという話をしていました。この話は実際にあった話かどうかは分かりませんが会場は大盛り上がりでした。実にお話の面白い方だなということで非常に感激して楽しませてもらって来ました。

■大館北 RC 創立60周年記念式典 PR 藤盛会長 & 笹谷実行委員長

◆笹谷実行委員長 北クラブの60周年のPRで来ました。日にちは5月24日土曜日、杉の子で16時から行きますのでメモをお願いします。一昨年、中央RCの周年行事に参加しまして大変プレッ



シャーを受けております。3つ感心したことがございます。まず1つはビッグネームをアトラクションで呼ばれたこと。2つ目は花善の鶏めしが大盛で出てきたこと、お土産に持って帰りました。3つ目、これはものすごくプレッシャーに感じる場所なんですけれども、退会された方が大変多く来られてあったということ。中央クラブがまとまりのあるクラブで懐かしいという思いが退会された方にあつて、訪れたことだと思っておりますので、その点は大変プレッシャーを感じておりますし、さすがだと思っております。中央クラブに真似ましてやったことは、全登録はやめました…希望者のみ。皆さんに負担をかけないように希望者のみの参加を募集しております。私はシュミレーションをしてどこのクラブが何人来るとやってみたんですが、一番多いのは中央クラブにしております。絶対数は南、大館が多いんですけど参加割合はそれほど多くないなど。中央はたいへん来るだろうかと期待しておりますので宜しくお願い致します。

- ◆藤盛会長 大館北RCの現会長の藤盛です。現会長なんですが、次期ガバナー補佐なんですよ。皆さんにお渡しした資料は次期桑山ガバナーの思いと、ガバナー補佐の活動目標や活動指針があるんですが、これは現ガバナー補佐の西村先輩のちょっと真似して書いていただけなんで、こういう活動すればいいなどは思っています。先週の土曜日に地区ラーニングセミナーというのがあって、地区方針とガバナー補佐計画というのを発表しなさいと厚い本がきたんですけども、その本を全部読まないと思って1ページにまとめてきたのがこれです。裏を見てもらうと、来年のRI会長はマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴさん。ブラジルの方です。次のRI会長は「テーマ」を設けないとのことです。なぜなら一年間しかやらない会長のテーマに縛られないように…ということのようです。テーマを設けずに「Unite for Good」を呼びかけていて「良いことのために手を取り合おう」というメッセージを伝えています。それに伴って桑山ガバナーエレクトもテーマではなく呼びかけということで「ロータリーを学ぼう」だそうです。ロータリアンの土台を作ってその上に世界で地域社会で良いことを進めるために手を取り合って力強く向かって進みましょうという意味が込められているようです。北区ガバナー補佐としての活動目標としては、各クラブ強みっているのは良さを活かして魅力ある例会にしていく。各クラブにて独自行事の企画を促し、会員や他クラブの会員との交流を深め、マンネリ化を防いで退会防止と会員増強を図る。ここら辺なんか今年の西村先輩のをそのまま真似したような感じです。3ヶ月に一度は担当クラブを訪問し、強みを把握するための交流を推進する。桑山ガバナーとの連携強化によって、ガバナーが掲げるテーマで呼びかけを各担当クラブの会員に丁寧かつ的確に伝える努力をしていきたいと思っております。



ニコニコBOX 本日の合計 3,000円 目標 300,000円 54.0%達成

- 菅原新一会長＝福田こうへい楽しかった。今までで一番です。
- 秦 誠幹事＝北ロータリークラブ藤盛会長、IM終了後の二次会では大変ご迷惑をおかけしました。
- 西村政幸・三浦朗・工藤賢一会員＝①インターシティミーティング大変お疲れさまでした。最後、少しバタバタしてしまいました。やはり飲みすぎ注意ですね。②北RC藤盛さん、笹谷さんを歓迎致します。祝60周年！！
- 伊藤深雪会員＝先日のIM有意義な時間をありがとうございました。
- 長谷部孝栄会員＝先日の家庭集会、新会員の私の為に企画して頂いてありがとうございます。
- 三浦朗会員＝先日のIMお疲れさまでした！！

■幹事報告

○ガバナー事務所より、4月ロータリーレート 1ドル=150円

○ // 環境月間リソースのご案内

■プログラム 会員卓話 伊藤深雪会員



今日は感染症のお話をさせて頂きたいと思います。感染症ということでいまパンデミックが会ったばかりで、皆さんにも非常に身近なものとなっているかと思ってこのお話をさせて頂きたいと思います。かなり昔から、伝染病とか流行病とかいろいろ感染症はずっと昔からありました。感染症の特に感染力が強くて重症になるようなものを疫病ともいわれて非常に恐れられてきました。人類はこれまで新しい薬やワクチンなどさまざまな手段を駆使して感染症と戦ってきました。それに負けずに病原体の方も進化を続けております。20世紀後半から新しいタイプの感染症が次々と現れるようになり、現在までの50年間で約40種類もの新しい感染症が見つかっているということで、人類の繁栄とともに進化を繰り返してきました。14世紀にはペストが流行り、16世紀には梅毒。17～18世紀にかけては天然痘、それから19世紀にはコレラ結核、そして最近で

は新型コロナウイルスということで感染症と戦ってきている歴史があります。国の方では、次の感染症危機に備えて、今月の1日には国立健康危機管理研究機構 JIS というものが設立されています。今日はコロナとかインフルエンザなど、こういった身近な感染症の予防を中心にお話をしたいと思います。まずは、感染症とは、ウィルスや細菌など色々ありますが、そういった病原体が体の中に入ることによって増殖し、発熱や下痢、咳などの症状が出ることを言います。細菌とウィルスの違いなんです。細菌は単細胞の生物で自分自身で細胞分裂をして増殖していきます。抗生物質というお薬が効くというふうな特徴があります一方、ウィルスの方は自分自身では増殖することができないので、生物の細胞に入って増殖します。抗生物質が効かないということで、どんどん感染が広がる傾向にあります。細胞の50分の1の大きさで非常に微小なのがウィルスです。コロナ感染症やインフルエンザは発症してから5日間は他人への感染リスクが高いという特徴もあります。感染症の分類なんです。新型コロナウィルスは2類からいま5類に移りました。この分類というのはどういうふうな分類になっているかというのをちょっと簡単に説明したいと思います。

- 1類: 感染力や重症性など危険性が非常に高い、迅速な対処が必要…エボラ、ペスト、天然痘など
- 2類: 1類に比べて低い危険性、それでも感染力や重篤性が高く適切な予防対策が必要…結核、ジフテリア、ポリオ(急性灰白髄炎)、SARS、鳥インフルエンザなど
- 3類: 特定の職業に従事することで集団感染を引き起こす可能性がある感染症
医療従事者や関連業務を行う人にとって注意が必要…コレラ、腸チフス、O-157 など
- 4類: 人から人への感染はないが、動物や飲食物を介して人に感染する感染症
食品の安全性や獣医などの連携が重要…ツツガムシ病、日本脳炎、マラリア、狂犬病など
- 5類: 国が感染症の発生や拡大を防ぐために情報を公開する必要がある感染症。一般国民や医療従事者に対して、国からの情報提供や適切な対応が求められる。…麻疹風疹、百日咳、梅毒、破傷風、コロナ感染症、インフルエンザなど

同じ感染症でも、感染の拡大が進むにつれて少し勢力が弱まったりして、新型コロナウイルスのように

2類から5類に移ったりという風なことがあります。感染症だから何類が、というふうにはっきりと固定しているものではないですけれども、1類、2類に入るものが非常に感染力が強くて非常に脅威を感じるものがあります。あと、感染が成立する3つの要素ということで、この3つが揃って初めて感染が確立するとか、感染症になるというふうなところで、まず1つは「感染源」です。ウイルスとか細菌の感染源、それから2つ目に「宿主」。感染しやすい人とか感染しやすい人の状態というふうな形で捉えてもらえばいいかと思います。あとは「感染経路」。この3つがそろって感染が成立しますので、このどこかを絶つことによって感染を防ぐことができるということになってきますので、ここら辺のところを覚えて頂いて感染を予防していただければなというふうに思っています。あと、病原体、ウイルスとか細菌が出たり入ったりする場所というのは皆さんどこか分かりますか？体の中でいうとどうでしょうか。穴のあるところとか、目とか鼻、口、あと尿道、肛門、それから性病なんかの場合は陰部なども、そういう感染源が出たり入ったりする場所にもなってきます。あとは、傷があつたりするとそこも感染が入りやすい状態になります。それから手荒れも細菌とかウイルスが非常につきやすくなりますので、手荒れはできるだけ防ぐようにハンドクリームとかつけていただければなと思います。感染経路については、感染経路には3つありまして、飛沫感染、接触感染、空気感染があります。飛沫感染というのは咳とかくしゃみで細かい水滴が飛び散るのを飛沫というふうに言います。けれどもこの飛沫にウイルスや細菌が含まれていた場合にはこれを吸い込むことで感染するということです。1回のくしゃみで約4万個の飛沫が飛び散るとも言われています。また、5分間話すと3000個の飛沫核が飛び散るというふうにも言われていますので、よく会食とかで近くで話をする事で移ったりというのはこういうことになります。あともう1つは接触。感染といって粘膜や皮膚など直接接触することで感染します。あるいは感染者に触ってその手とか衣類にウイルスがついていた場合、その手を例えば顔とか触った場合、そこからウイルスが入って感染するというのがまた1つの接触感染になります。あとは、感染者が例えばくしゃみを手で抑えてそれを洗わないで誰かと握手したりとか、そういうことでまたもらったりとか。あとはつり革とかドアノブなど手すりなどを感染している人が触ってそこにウイルスがついていて、そこに知らないで触ってまたそれをもらうというようなのが接触感染になります。あと空気感染というのはちょっと難しいんですけど、飛沫が空中を飛んでいるときに水分が蒸発して飛沫核という非常に微小な粒子になって、そこにウイルスがついてまた飛び散って人の体についてそこから感染というふうなことなんですけれども、これは麻疹と水疱瘡水痘と結核菌だけが今のところは言われているものなので、でも飛沫からなるものなので、まず飛沫感染と生殖感染を防止していれば、まずはほとんどの感染症が予防できるかなというふうに思っています。こういったことを加味して感染症の予防なんですけど、基本的に厚生労働省で言われているのは持ち込まない、持ち出さない、広げないというところで感染対策をとっていきましょうと言われています。まず1つは感染源のところをたききるには、やはり手洗い。むやみに触らないとか手洗いをする。あとは手袋をすることで感染源を取り除く。それからもう1つは感染に対する抵抗力。感染しやすい人にならないために抵抗力を強くするという事で、睡眠不足にならないように睡眠をとる。タンパク質をとる。口の中をきれいにする。口の中をうがいするだけでもウイルスを除去することもある程度はできます。あとは予防接種で抵抗力を強くするなどがあります。適切な予防をして健康な日常をすごしていただければ幸いです。